

■伊賀市におけるごみ減量・資源化の取り組みについて

① 可燃ごみ発生量の推移について

指定ごみ袋料金と可燃ごみ発生量の関連

指定ごみ袋制度導入後、料金改定後には、一定のごみ排出抑制効果が見られる。
その後は、横ばいの状態が続いている。

② 生ごみ処理容器購入費補助金交付事業について

家庭から出る生ごみの減量化と堆肥としての資源化を図るため、生ごみ処理容器の購入費の一部を申請により補助している。

生ごみ処理容器購入費補助金交付状況

年度	電非	件数	金額（円）	交付件数	交付金額（円）
2019(R元)	電動	17	298,000	30	323,400
	ｺﾝﾎﾟｽﾄ等	13	25,400		
2020(R2)	電動	18	280,000	28	296,800
	ｺﾝﾎﾟｽﾄ等	10	16,800		
2021(R3)	電動	16	249,000	39	291,500
	ｺﾝﾎﾟｽﾄ等	23	42,500		
2022(R4)	電動	14	242,000	25	264,500
	ｺﾝﾎﾟｽﾄ等	11	22,500		
2023(R5)	電動	27	656,000	47	710,500
	ｺﾝﾎﾟｽﾄ等	20	54,500		

※令和5年度は、1月末までの実績

補助金額】購入金額の2分の1以内

- ・電動処理機 上限30,000円／1基
1世帯に1基まで（6年以内に補助を受けていないこと）
- ・コンポスト容器等 上限 5,000円／1基
1世帯に2基まで（3年以内に補助を受けていないこと）

③ ごみ減量・資源化の啓発について

広報・ホームページ・フェイスブックによる周知

- ・資源再利用物回収奨励金について
- ・食品ロスについて
- ・家電4品目のごみの出し方について
- ・リチウムイオン電池などのごみの出し方について

④ 市内小中学校での主な取り組みについて

小学校では、児童の自主活動によりアルミ缶・ペットボトルキャップの回収を行ったり、使用した画用紙、工作等での切れ端、半紙、プリント類の残りなどを再利用するため、リサイクルボックスを設置、牛乳パック、トイレットペーパー、セロテープ等の巻き芯回収にも取り組んだりしている。

牛乳パックを利用した工作を行ったりしている。

中学校では、生徒会によるアルミ缶・牛乳パック・古紙の回収、ペットボトルキャップの資源回収を行ったりしている。

⑤ 資源再利用物回収奨励金交付事業について

環境学習の一環として再生利用可能な廃棄物の集団回収を実施した登録団体（児童福祉法による児童・PTA等の学校教育関係の団体・障害者基本法等による団体）に対し、申請により奨励金を交付している。

日常において、ごみを減らすことの大切さ、環境を守ることの意識向上につながり、自主的に回収を行うことで、リサイクルについての意識が高まり、団体が資源を管理することで分別が徹底され良質な資源として再利用される。

登録団体	児童・福祉会	14
	小・中学校PTA	24
	福祉団体	2

<資源再利用物回収奨励金交付実績>				
◆これまでの交付実績				
年度	交付団体数 (延べ)	登録団体数	年間回収量 (kg)	年間交付額 (円)
2019 (R元)	104	45	212,669	638,007
2020 (R2)	92	42	178,702	536,106
2021 (R3)	90	40	99,333	297,999
2022 (R4)	87	40	101,483	304,449
2023 (R5)	95	40	60,773	182,319

※令和5年度は、2月末までの実績

- ・古紙類（新聞、雑誌、ダンボール等） 3円/kg
- ・古布類（ボロ布、古着等） 3円/kg

⑥自治会での資源（紙・布）回収について（名張市・伊賀南部）

1 補助金制度について

- ・補助要綱 資源ごみ自主回収支援事業補助金交付要綱（別添のとおり）
- ・補助金額 自主回収重量 3 円/kg（最大 100,000 円/年）として最大 3 カ年分
- ・各地区の回収量 各地区により異なる（約 50,000 kg～約 350,000 kg/年）
- ・各地区の収益 100,000 円（年額）
- ・この制度のメリット・デメリット

実施地区 メリット 行政回収の廃止に伴い自主回収量が増量し、結果として
契約者である自治会への収益増が見込まれる。
行政より補助金交付も受けられる。
自治会の主体的な資源化への取組みが図られる。

デメリット 行政回収が行われないため、若干でも地域住民に対して
は利便性が低下する。
自治会に未加入の住民に対し、自治会は資源ごみ排出方
法を周知する責任を負う。

伊賀南部環境衛生組合 メリット 行政収集区域数の減少に伴う収集業務委託料の削減
デメリット 特になし

2 資源回収地区（名張市、伊賀南部）について

地区名	回収日	回収場所／品目	備考
つつじが丘・春日丘	つつじが丘南…毎月第1、3木曜日 つつじが丘北…毎月第2、4月曜日 春日丘…第2土曜日	自宅前／ 紙・繊維類、アルミ缶	
富貴ヶ丘	毎月第3日曜日	同上	
桔梗が丘南	毎月第1、3水曜日	同上	
錦生	毎月第4土曜日	ごみステーション／ 紙・繊維類、アルミ缶、スチール缶	
桐ヶ丘	毎月第1、3土曜日	自宅前／ 紙・繊維類 ごみステーション／ アルミ缶、スチール缶、ペットボトル	

紙・繊維類…新聞、雑誌・雑がみ、ダンボール、紙パック、古着

伊賀北部地区で実施するとした場合

参考：住民自治協議会 33

(内訳)

上野支所管内 22

伊賀支所管内 3

島ヶ原支所管内 1

阿山支所管内 4

大山田支所管内 3